

富山県森林・林業振興計画は、総合計画の森林・林業・木材産業分野に関する計画として位置づけられており、総合計画で政策目標を具体的にイメージするものとして設定されている参考指標について、その達成に向け、より具体的、詳細な参考指標を 24 設定する（現計画 23）。

なお、主伐・再造林による森林資源の循環利用の推進、県産材の安定供給体制の整備と需要拡大、林業担い手の確保などの現在の課題に対応するため新たに 10 の指標を設定する。

○振興計画での参考指標の設定の考え方

森を活かす **木を使う** 【総合計画の参考指標】[県産材素材生産量][林業就業者数]

- 1 森林資源の循環利用を進めためには、主伐を促進し、伐採跡地への再造林や植栽木の適正な管理が必要。 ⇒ 指標：主伐面積、優良無花粉スギの植栽面積等
- 2 主伐や森林整備を推進するためには、森林境界の画定等を進め施業の集約化を図るとともに、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を進め木材の生産性を向上させることが必要。 ⇒ 指標：森林境界画定面積、木材の生産性等
- 3 主伐や森林整備を実施する林業担い手を確保するとともに、安心して働ける所得を確保することが必要。 ⇒ 指標：林業就業者数、林業従事者年間平均所得
- 4 県産材素材生産量を向上させるためには、県産材の安定供給体制の整備や需要拡大を図るとともに、県産材利用への理解を醸成することが必要。 ⇒ 指標：県産材素材生産量、公共建築物等での県産材利用実績（棟数）等

森を守る 【総合計画の参考指標】[里山林の整備面積][優良無花粉スギ植栽面積][県民参加による森づくりの年間参加延べ人数]

- 1 県民参加の森づくりを進めるためには、里山林や混交林の整備、優良無花粉スギ「立山森の輝き」の植栽等を着実に進めるとともに、とやまの森を支える人づくりの推進が必要。 ⇒ 指標：里山林の整備面積、県民参加による森づくりの年間参加延べ人数等
- 2 近年、頻発する集中豪雨などによる山地災害から県民の生命、財産を守るため、治山・治水対策等を着実に進めることが必要 ⇒ 指標：山地災害危険地区着手数、流木被害防止対策着手数、保安林指定面積等

○参考指標（案）

着色：総合計画の指標、ゴシック：新たな指標

施策	区分	指標
森を活かす	主伐、再造林、森林管理	①主伐面積（人工林）、②県営林素材生産量、③優良無花粉スギ植栽面積、④間伐面積 《集約化の推進》 ⑤森林境界画定面積、⑥森林経営計画策定面積、⑦認定施業プランナー数 《木材の生産性の向上》 ⑧木材の生産性、⑨路網整備延長（人工林） 《民間事業体の経営基盤強化》 ⑩認定事業体のうち民間事業体数、⑪非皆伐長伐期施業面積（公社）
	担い手確保	⑫林業就業者数、⑬林業従事者年間平均所得
木を使う	需要拡大	⑭県産材素材生産量、⑮公共建築物等の木造率、⑯公共建築物等での県産材利用実績（棟数）、⑰県産材大型遊具の導入施設数
森を守る	県民参加	⑱里山林の整備面積、⑲混交林の整備面積、⑳県民参加による森づくりの年間参加延べ人数、㉑森の寺子屋の年間開催に回数
	山地災害対策	㉒山地災害危険地区着手数、㉓流木被害防止対策着手数、㉔保安林指定面積